

YCAM 5周年記念事業 「大友良英 / ENSEMBLES」関連企画

大友良英 × 高嶺 格 トーキング・セッション

2008年6月1日(日) 14:00-15:30(予定) 山口情報芸術センター (YCAM) ホワイエ
入場無料(申込不要) モデレータ:小崎哲哉

7月より開催の「大友良英 / ENSEMBLES」展

その関連企画として、アーティスト本人によるトーキング・セッションを開催

多彩なジャンルの音楽・音響シーンで大きな影響を与え続けるアーティスト、大友良英氏。7月より開催する「大友良英 / ENSEMBLES」展では、彼の包括的な音の世界を国内外のミュージシャンやアーティスト、市民の方々とのコラボレーションを通じ、YCAM全館をつかって映像と空間を多面的にメディアミックスしたサウンドインスタレーション展示をいたします。

今回ご案内するトーキング・セッションは、「大友良英 / ENSEMBLES」展の関連企画となります。新作インスタレーションのひとつ「orchestras」(オーケストラズ)で初のコラボレーションを行う大友良英と高嶺格の両氏をゲストに、作品の魅力などを自由に語り合ってください。司会には国際的な美術雑誌「ARTiT」編集長で、東京のカルチャーイベントをバイリンガルで伝えるウェブサイト「REAL TOKYO」発行人の小崎哲哉氏を迎え、個性的なお二人の魅力を存分に引き出していただく予定です。

共催: [季刊アートのイト]

同時開催

ボランティア・機材募集説明会

日時: 2008年6月1日(日) 15:30-17:00(予定)

トーキング・セッション終了後、大友氏本人による本展にて展示予定の作品「without records」(ウィズアウトレコーズ)の解説、ボランティア・機材募集説明会を行います。



大友良英(おおとも よしひで)

1959年生まれ。ギタリスト/ターンテーブル奏者/作曲家/プロデューサー。ONJQ、Anode等常に複数のバンドを率い、またFilament、Joy Heights等数多くのバンドに参加。日本はもとより世界各地でのコンサートやレコーディング等、常にインディペンデントなスタンスで活動。特に現代音楽や即興、ノイズの分野における欧米での評価は高い。また田壮壮監督「青い嵐」等、多数の映画のサウンドトラックを担当し、ベルリンをはじめとした多くの映画祭で受賞。カヒミ・カリィや浜田真理子等のプロデューサーも手がける。

高嶺 格(たかみね ただす)

1968年生まれ。美術作家。90年代初頭より、パフォーマンスやインスタレーション、ビデオから工芸的手法まで多彩な作品を発表。ヴェネツィア・ビエンナーレ2003、釜山ビエンナーレ2004、横浜トリエンナーレ2005などの国際展でも活躍している。美術作品の傍ら、舞台作品のコラボレーションも数多く手掛け、近年は自身の演出による舞台作品を伊丹アイホールにて発表している。京都造形芸術大学客員教授。